

令和4年7月6日(水曜日)

議会活性化特別委員会

## 議会活性化特別委員会

---

令和4年7月6日（水曜日）

---

出席議員（1名）

議長 星 喜美男 君

---

出席委員（12名）

委員長	今野雄紀君		
副委員長	菅原辰雄君		
委員	伊藤俊君	阿部司君	
	高橋尚勝君	須藤清孝君	
	佐藤雄一君	後藤伸太郎君	
	佐藤正明君	及川幸子君	
	村岡賢一君	三浦清人君	

---

欠席委員（なし）

---

事務局職員出席者

事務局長	男澤知樹
主幹兼総務係長 兼議事調査係長	畠山貴博
主事	山内舞祐

## 議会活性化特別委員会の会議の概要

午前9時 開会

○委員長（今野雄紀君） ただいまより議会活性化特別委員会を開催いたします。

ただいまの出席委員数は、12人であります。定足数に達しておりますので、会議を開きます。

初めに、私から一言、挨拶を申し上げます。

それでは、会議を始めます。はじめに、「タブレット端末の導入について」、本日気仙沼市議会を視察いたします。事務局から説明させます。局長。

（事務局から行程等について説明）

○委員長（今野雄紀君） 事務局の説明が終わりました。何か確認したいことがあります。なければ、視察に向かいます。

### 【帰庁後：役場3階会議室】

○委員長（今野雄紀君） 皆さんお揃いのようですので、再開いたします。三浦委員が退席しております。

それでは、引き続き、協議に移ります。

まず初めに、「タブレット端末の導入について」を議題といたします。午前中に、気仙沼市議会において現地調査を実施しましたが、実際に見た内容等を踏まえて、今後の導入についてどのように調査を行っていったほうがよいか伺いたいと思います。どなたかご意見ございましたらお願いいたします。村岡委員。

○村岡賢一委員 今日、気仙沼で詳しく説明を受けました。タブレットを導入するというのは、以前から私たち議会でもいろいろ検討を重ねてきましたので、そろそろそういう頃合いかなと思いますので、導入に向けた動きをしたほうがよろしいのではないかと思います。

○委員長（今野雄紀君） ただいま、村岡委員から導入の動きをというご意見ありました。ほかにございませんか。後藤委員。

○後藤伸太郎委員 改選してから、この話は初めてというか始まったばかりかなと思っているので、2期目以上の方は2回か3回、実際にタブレットを見て触ってみてますけど、1期目の議員さんからすれば一度業者さんの話を聞くというのもあってもいいのかなと思いますので、そうしたらしいのではと、今後の進め方ということですので、そういう仕方がいいのではないかと思います。

○委員長（今野雄紀君） ほかにございませんか。ではないようなので、進めていくという方向で行きたいと思います。

それでは私から。導入した場合の、先ほど調査したんですけど具体的の経費等もう少し踏み込んで内容を調査したいと思います。そこで、気仙沼市議会で導入しているシステム業者を呼んで、先ほど後藤議員からもあったようなタブレットの実際のデモを実施する必要があると思います。そういう形で進めていく上で、デモの実施や進め方について、何か事務局から説明があれば伺いたいと思います。

○事務局長（男澤知樹君） まず、気仙沼市議会で導入している業者は、東京インタープレイ株式会社という会社のようございます。そこで開発している商品が、サイドブックスというクラウドシステム、今日見てきたシステムでございます。気仙沼の議会事務局と内々に業者さんを紹介していただきしております。もしデモをやるとすれば、お受け頂けますかという話を昨日確認しましたら、お受けいたしましたが、今その業者いわく500自治体以上に納品して使っていただいているので、今日お願いして2週間後とかっていうのは無理だけど、2か月くらい先であればみたいな話がありましたので、2か月というと9月あたりかと思いましたが、一応承知しましたという話をしております。

議長とも若干話した中で、さっきも話ありましたけれど登米市さんとかの業者、仙台の業者とかも違うらしいんですけど、まず気仙沼市で入れてる業者で見ていいんじゃないかなという話もしてましたので、事務方としては次回は気仙沼市で入れている業者さんと、そのシステムですか、デモを行うのがよろしいのかなと思っておりましたので、本日ご確認いただければ事務方のほうで日程とか内容について業者さんサイドと詰めさせていただこうかなと、可及的速やかにと、考えてございます。以上です。

○委員長（今野雄紀君） 事務局の説明も踏まえまして、意見等があれば伺います。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（今野雄紀君） ないようでしたら、今後についてそのように執り進めることといたします。なお、デモの実施時期等については、先ほどの局長の説明にあったように時間がどのようになるかわからないんですけど、今後正副委員長に一任いただきたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（今野雄紀君） 異議なしと認めます。それでは、そのように執り進めることといたします。

次に、「住民と議会の懇談会について」を議題といたします。正副委員長に一任されていた内容について、事務局から説明させます。局長、お願いします。

○事務局長（男澤知樹君） 前回の活性化特別委員会において、住民と議会との懇談会につきましては、町の産業団体との意見交換会ということで行うと意思決定されておりまして、その産業団体は漁業関係団体ということで決定しておりましたので、その後志津川漁協さん、歌津漁協さんに赴きまして日程調整等させていただきました。結果といたしまして、お配りしております資料のとおり、今月28日木曜日ということで、両支所長と折り合いをつけてございます。

時間を区切って、志津川漁協さんと歌津漁協さん別です、ということです。これについては、一緒がいいか別がいいかということで私率直にお聞きいたしたところ、歌津漁協さん志津川漁協さんともに、同じ一つの町なんだけど課題っていうのは同じところもあるんだけど違うところもあるといったお話がございまして、あと話しやすい環境ということであれば、別々の方がよろしいのかなというのは、奇しくも両漁協から同じ意見をいただきましたので、それではという形です。ウニの開口とかが万にひとつあったときも対応できるようにということで、午前ではなく午後ということの話もした上でですね、1時15分から志津川漁協さん、3時から歌津漁協さんということで内々には了解をいただいております。

併せてなんですが、運営委員長と支所長とか幹部の方だけではなくて、いわゆる現場の方々、部会ですね、例えば銀ザケ部会とかホタテ部会とかいろんな部会がございますが、そういう部会の方々においていただきたいというのが議会の今回の考え方としてありますと伝えましたところ、趣旨につきましては了解いただいておりまして、それぞれの支所におきまして各部会の方に声をかけてみますという話もいただいております。

時間、日程については以上のところまで打ち合わせをしております。今後、どういう人たちを連れて参る、そしてどういった意見交換をするかについては、今後詰めていこうというところまでの調整をいたしております。

雑ですけれども、私からは以上であります。委員長よろしくお願いします。

○委員長（今野雄紀君） 事務局の説明が終わりました。役割分担につきましては、正副委員長と事務局とで協議を行いまして、次のとおりとしたいと思います。

挨拶は、私と菅原副委員長。進行は、村岡委員。記録は、阿部委員と高橋委員。撮影は、佐藤雄一委員と須藤委員。最後にまとめを、伊藤委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。事務局から補足があればお願いします。

○事務局長（男澤知樹君）　　記録、撮影、まとめにつきましては、最終的には議会だよりといった形でまとめて町民の方々に意見交換会をした事実をお伝えするという運びになるということもございまして、広報常任委員会の方々にその役割をそれぞれ担っていただくことが適當ではないかなといった話がございましたので、今委員長が申したというところでございます。

ひとつ、御理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。以上であります。

○委員長（今野雄紀君）　ただ今事務局の補足の説明が終わりました。日程及び役割分担について、その他開催にあたり意見等があれば伺いたいと思います。御意見・・・はい、後藤委員。

○後藤伸太郎委員　　考え方次第だと思うんですけど、漁協ですね、水産加工の関係の方とか来るわけではないですね、そうなると参加者はそれほど多くはないのかなと思うので、協議の時間が1時間半ずつあるんですけど、長いのかなと、個人的にちょっとと思ったんですけど。時間を空けてというわけではないと思いますんで、その後の委員長と副委員長の判断に任せたいと思いますけど。

今日気仙沼に行って、30分説明していただいて質疑して、1時間で終わってますよね。それぐらいなのかなと思った次第です。そこだけ意見としてお伝えしておきたいなと思いました。以上です。

○委員長（今野雄紀君）　局長。

○事務局長（男澤知樹君）　若干すみません、説明が雑でした。

志津川漁協に参りましたところですね、部会の数が19あると、全部行っていいのと言われまして、終わらないんじゃないのと半分冗談半分本気みたいな話がございまして、いくらか間引いたりしなきゃいけないかなみたいな話も実はありました。これは、志津川と戸倉それぞれに同種と言いますか、の部会があるということなんですということで、どちらかになかなか絞れないし、取組としてはすごく賛同しますと志津川漁協さんには言われました、支所長と運営委員長には。いい取組だね是非という話も、現場の声を率直に伝えるいい機会だからと、実際議員さん方とも知ってる議員さんもいるけれども存じ上げない議員さんもいるので、非常にいい機会だと思うという話もいただきましたので。

あとできれば要求要望とかじゃなくて現場の声でいいんでしょうみたいな話もいただいたので、いわゆる要望書にまとめるような内容じゃない話とかも全然構いませんよという話もしておりますので、3回質問して3回答弁みたいな紋切型で終わらないんだなと相手方も思ってらっしゃるのかなと思いましたので、ちょっと余裕を持った時間設定でよろしいのかな

と。

あと持ち方につきましては進行をお勤めいただきます村岡委員長と、どう進めていくかについては詰めさせていただきたいと思っております。以上です。

○委員長（今野雄紀君） ほかにございませんか。では今回は懇談ということですので、時間はさつき後藤委員が言ったような形ではなく、こちらの案のような形で進めさせていただきます。

それでは、そのように取り進めることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。それでは、そのように取り進めることとさせていただきます。

最後に、各委員からその他何か御意見があれば伺います。ございませんか。

なければ、次回の委員会についてお諮りいたします。次回の特別委員会については、令和4年7月28日の漁協両支所との意見交換会としたいと思います。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。以上で、本日の会議を終了したいと思います。これに、御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認めます。それでは、最後に、副委員長から挨拶をお願いいたします。

○副委員長（菅原辰雄君） 本日は、気仙沼市議会に行ってタブレットについてお話を伺ってきました。事務局の計らいでおいしい昼食もとることができました。さらには、ここに戻ってきて本日のこと、あるいは今度の住民と議会の懇談会について、スムーズにすることができます。28日の漁協さんとの話し合いが、本当に時間が足りなくて大変だ、まとめが大変だ、というような活発な意見交換の場になるように皆さんで努力していただくことをお願い申し上げまして、本日の会議を終了いたします。

本日は、まことにご苦労様でした。スムーズな進行に心から感謝を申し上げ、閉会といたします、ありがとうございます。

○委員長（今野雄紀君） 以上で議会活性化特別委員会を閉会いたします。大変ご苦労様でした。

午後1時30分 閉会